

2020年8月20日
日本銀行

2020年9月以降の米ドル資金供給について

米ドル資金調達環境の改善の継続や、最近の1週間物の米ドル資金供給における需要の低さに鑑み、イングランド銀行、日本銀行、欧州中央銀行、スイス国民銀行はともに、米国連邦準備制度と協議のうえ、1週間物の米ドル資金供給の実施頻度を週3回から週1回に減らすこととした。この運用上の変更は、2020年9月1日から適用される。3か月物（84日物）の米ドル資金供給は、引き続き週次で実施する。

上記の中央銀行は、市場の状況に応じて、米ドル資金供給を再調整する用意がある。これらの中央銀行間の米ドル・スワップ取極は、利用可能な常設の制度であり、グローバルな資金調達市場の緊張を緩和する重要な安全弁として機能することによって、国内外で、こうした緊張が家計や企業に対する信用供給に及ぼす影響を軽減することに資するものである。

以 上